【会の目的】　（会則第３条「スクールはラグビーフットボールを通じ、子供たちの心身の健全育成、知力、体力及び相互信頼の醸成に努めていくことを目的とする」）

【指導目標】　夢と目標をもってミニラグビーをエンジョイし、周りの仲間と高めあえる「ラグビーが好きでたまらない」プレーヤーの育成

（ラグビーを・楽しんでしてもらう・好きになってもらう・常に友と前向きに努力・前進できるラガーになってほしい）

【指導方針】

|  |
| --- |
| 項目（全体の共通認識） |
| 安全  ・ミニラグビーだけではなく全てのスポーツの基本にすえるものと認識する  ・発達障害含めた体力・習熟度の個人差を認識し、過度な能力向上の強要や練習時間の実施を行わない  ・生徒の危険な行為に対しては適切に指導する |
| 育成（コーチング）  ・対象がミニラグビーであるという視点にたち，大人のラグビー観を強制せず、生徒の人格を尊重し、成長を補助する  ・生徒の習熟度に応じたチーム作りを行う。全国大会（HEROS）では勝利を目指すが、勝利至上主義ではなく、生徒の能力向上を目指す  ・年間、中期の計画を書面作成し共有する。計画の実施検証を適宜行い、実態と乖離しないようにする  ・コーチ、レフリーは、その責務に応じた能力向上を怠らない |
| 規律  ・人格否定の言動、体罰、罰練を行わない。信頼の上に立った関係もしくは愛情表現としてこれらが認められるという考えは奢りであると認識する。  ・時間（集合・練習）を守る。ドレスコード（チームジャージー）を守り、練習時・対外試合で生徒の模範となる行動を取る  ・礼儀規律を重んじ、グラウンド外においても社会的ルールを守り、生徒の模範となる行動をする |